通信

東京だより

田中生

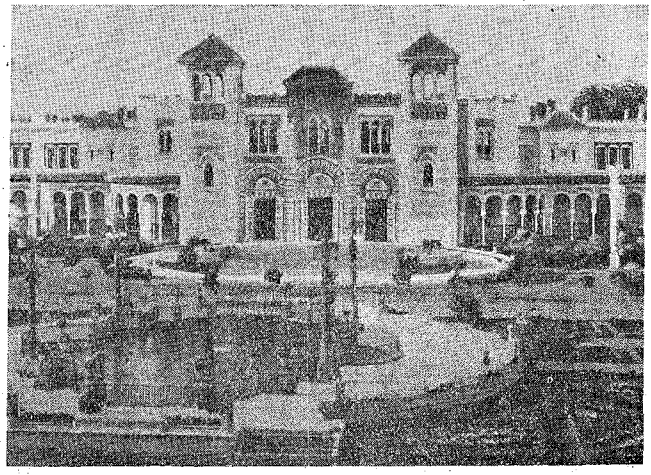
肅啓　震災を以て永久に記念さるべき大正十二年も既に去り、茲に十三年の新春を迎へ候は讀者諸君と共に慶賀に不堪所に御座候、震災を復興すべき使命を與へられたる臨時帝國議會も、いつもの如く甲論乙駁の裡に終了を告げ申候得共、其の協賛を與へたる結果は果して帝都百年の將來を慮りたるものなるや、甚だ懸念に堪へざる所に有之候。

會議の模樣より觀るときは、大政黨たる政友會が、政府の提出したる案件に對し、案其のものゝ內容を審査するに薄くして、政黨に基礎を置かざる內閣なりとの反感を以て理非理に議決を爲したるやの嫌有之殊に復興事業中最も重大なる土地區劃整理を、組合の事業に委ね行政廳の職務に屬せしめざりし如きは、帝都百年の爲誠に遺憾とする所に有之、帝都は復舊するも依然として舊態を再現するに止まり東洋一の大都會の再現は夢想と相成候、政府も亦確信を以て提出したる復興計畫其のものに付、一たびは帝都復興審議會の修正に同意し更に再び衆議院の修正に同意したるが如きは、假令復興事業の實現を急ぎたるものとは言へ、餘りに確信なき行動にして不甲斐なさ加減驚嘆の外無之候、近き將來不幸にして、這次の災禍を受けたる場合に於ける社會的の責任は政友會と山本內閣の分擔すべきものと被存、遂に大風呂敷を擴げたる計畫も從來論議せられたる都市計畫事業の一般と繹ぶ處なく龍頭蛇尾に終り申候。

漸くにして臨時議會を切り拔けたる內閣も、通常議會の對策に取掛らむとする刹那、不祥虎之門事件の爲に、引責辭職の已むを得ざるに出でたるは、閣員諸公に對し同情の念難禁候、後繼內閣も茲二三日の內に決定可致模樣に候得共、吾人

は、立憲君主國に於ける內閣が、國情の如何を問はず必ず政黨に基礎を置かざるべからざる理由なきものと、確信するものにして、後繼內閣が如何なるものに依て組織せらるゝにせよ、其の內閣の採用する主義政綱が國民の輿論に合致するものなるに於ては、双手を擧げて歡迎するに吝ならず候、要は其の內閣の採用する主義政綱に在つて、內閣組織者の如何を問はざる所に有之、此意味に於て選擧法の改正を企て、火災保險金問題を解決せんとしたる山本內閣をして、尙暫時留任せしめたきものとは輿論の一致する所に有之、此後の政治は國民の一部階級を代表したる者の頭數に依つて形式的に行ふに非ずして、國民多數の意思に合致したる主義政綱を實質的に實行すべきものと被存候。

帝都復興計畫が修正せられたる結果、帝都復興院の執行すべき事業の範圍が縮少せられたる爲、東京府、東京市やら神奈川縣、橫濱市等の自治團體に於て、執行すべき事業著しく增加致候、是等は自治團體の主權を尊重する上に於て、惡しきことには無之候得共、現在道路の維持管理にすら十分の成績を擧げ得ずして、市民怨嗟の的と相成居候府市理事者が、克く其の重任を執行するの手腕を有する哉を懸念する所に有之候、當局者に願ふ所は、帝都復興の遲速は交通機關の整備如何に在るを以て、都市內交通を專ら掌る市內道路の整備に一日も早く着手し、從來に於けるが如く大正十年度の工事を十二年度に至るも尙且つ完了せざる如き其の實行が計畫に追はるゝことなき樣緊褌一番市都の爲に努力せむことに有之候



西班牙本邦セヨ（萬國出席）
ヤリビリは我市ヒ本松ヒ本翰事（道路會議場）
パスポート茂（名聲を博せり）
ノメアリ庭（館）
カリナ佐藤兩技師（）

各地方に於ける議會も終了し、大正十三年度豫算も確定したることゝ存候、舊臘よりの各位の奮鬪は我路政の爲に感謝する所に有之新春の屠蘇に依つて其の勞苦を慰安せられたることゝ存じ候、就ては新年度に於ける新事業やら、其の抱負は多數可有之被案外に付遠慮なく本欄に御投書被下候樣相願度今回は是を以て擱筆致候敬具。